



【令和3年度要求額 18,674百万円の内数 (16,307百万円の内数)】

温室効果ガス濃度の全球モニタリングなどに必要な「いぶき (GOSAT) シリーズ」のデータ処理を行っています。

1. 事業目的

- ① 「いぶき」 (GOSAT) シリーズの観測データから温室効果ガスの濃度や吸収排出量等の高次プロダクトを定常的に作成する。
- ② 作成された「いぶき」 (GOSAT) シリーズのプロダクトを長期的に保存するとともに、研究者や一般利用者に関連情報と合わせて提供する。

2. 事業内容

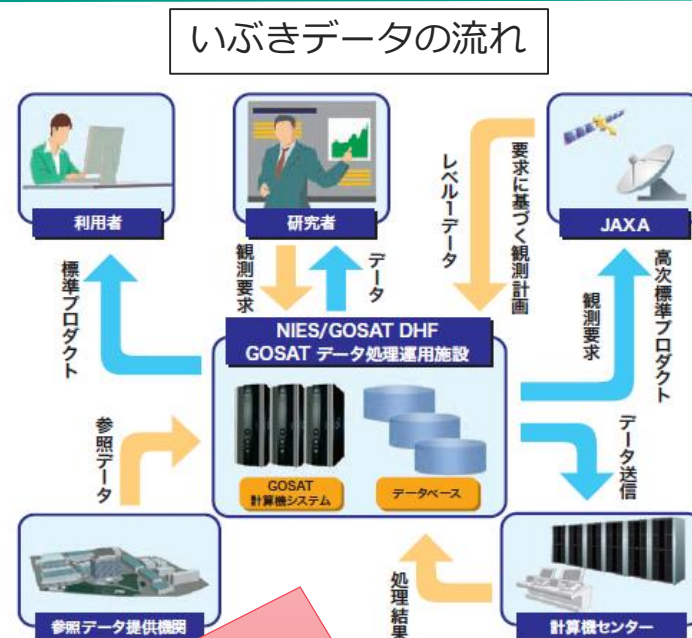
温室効果ガス観測技術衛星 (いぶき、GOSAT) シリーズは、環境省・宇宙航空研究開発機構 (JAXA) ・国立環境研究所 (NIES) の共同プロジェクトです。その1号機は平成21年1月に、2号機は平成30年10月に打ち上げられ、10年以上にわたり地球全体の温室効果ガスのモニタリングを行なっています。

本事業では「いぶき」シリーズのデータから温室効果ガスの濃度や吸収排出量などのプロダクトを定常的に作成し、研究者や一般利用者ホームページなどを通じて提供するための地上データ処理システムの開発とその運用を行います。特に令和3年度については1、2号機用システムの定常的な運用・維持管理・改良を継続するとともに、衛星運用終了後を見据えた長期アーカイブの構築を進めます。さらに3号機用システム等の基本設計を完了させ、詳細設計及び計算機設備の調達を開始します。

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金
- 交付対象 研究機関 (国立環境研究所)
- 実施期間 平成16年度～

4. 事業イメージ



JAXAからの「いぶき」レベル1プロダクト等から、温室効果ガスの濃度や吸収排出量などを算出し、高次プロダクトとして公開しています。